

技委発第14-1号通達  
平成26年 1月 1日

関係各位

技術委員長 阿南 喜裕  
(公印省略)

## ルール変更に関する通達

2014年I P Fルール改正発表に伴い、J P Aルールを下記のとおりに変更します。

今回の通達に関する運用は**2014年1月1日**からとしますので、ご理解の上、周知徹底をお願い致します。ただし、1.項に関しては、**国内に限り2014年12月31日までは猶予期間**を設けます。

### 1. ニースリーブ（膝のサポーター）ならびリフティングスーツの使用に関して

- ① ジャパンクラシック選手権大会（ノーギア競技のパワーリフティングおよびベンチプレス）で着用できるニースリーブは、I P F公認品のみ使用可能とする。
- ② ノーギア競技で日本記録に挑戦する際に着用できるニースリーブは、①と同様にI P F公認品のみとする。
- ③ ①以外の各地方競技会のノーギア競技で着用できるニースリーブは、I P F公認品以外でも可能とする。ただし、規格内の製品であること。  
なお、ブロック大会において日本記録挑戦時は、②を適用する。
- ④ フルギア競技において、ニーラップの代替でニースリーブを使用する際は、上記①～③と同様の扱いとする。
- ⑤ リフティングスーツの肩ひもを外側に縫い縮めた場合は、余白部分は3cm以内とする。3cm以上調整する際は内側に縫うこと。余った部分を肩ひも及び本体部分に縫い付けてはならない。

### 2. ブロック大会における日本記録の取り扱いに関して

- ① ブロック大会では、原則としてすべての年齢カテゴリーを開催するように努めること。  
なお、年齢カテゴリーの設定のない場合は、すべて「一般」出場として記録取り扱いすること。
- ② ブロック大会において2.5kgの倍数でない端数の日本記録に挑戦する際は、全国競技会と同様、挑戦するカテゴリーにエントリーしている場合のみ新記録として認める。  
(<例>ジュニアの日本新記録(端数の場合)に挑戦する際は、ブロック大会においてジュニアのカテゴリーが設けられており且つ当該カテゴリーにエントリーされていること。)  
なお、2.5kgの倍数の日本記録に挑戦する際は、上記の限りではない。
- ③ 各連盟(高校、学生、実業団)実施の全国競技会でも同様、年齢カテゴリーの設定のない場合は、すべて「一般」出場として記録取り扱いすること。(高校選手権の「高校生の部」を除く。)

### 3. 世界マスターズクラシック選手権大会に関して

- ① 2014年6月開催の世界クラシックパワーリフティング選手権大会から、マスターズ部門が新設されることとなった。これに伴い、2013年9月開催の全日本マスターズクラシック選手権大会に出場された選手の中から、当該競技会への派遣選手を選考する。
- ② 出場資格に関しては、2014年度版の国際大会派遣選手選考基準上に別途定める。

#### 4. 公認審判員資格昇級制度の変更に関して

- ① 2014年1月より、公認審判員資格昇級に際しては、実技試験を実施する。
- ② 実技試験は全国規模競技会（パワーリフティング）において実施される。
- ③ 受験資格、実施要項に関しては、公益法人公認審判員規程上に別途定める。

#### 5. 公式記録表（スコアシート）及びパンフレット、日本記録申請期限に関して

- ① 技委発第12-1号通達にもある通り、公式競技会場で公開される記録表（スコアシート）ならびにパンフレット、実施後に発表される公式記録表において、各選手情報の中に生まれ年（西暦）を必ず記載すること。年齢の記載に関しては義務付けない。（各主催者の任意とする）
- ② ルールブックに明記されている通り、各公式競技会にて樹立された日本記録に関しては、日本記録認定申請書に必要事項をすべて記載した上で、1週間以内にFAXまたはメールにて技術委員会宛に報告すること。また、申請書の原版に関しても1か月以内に技術委員会宛に提出すること。  
この手続きを遵守されない際には、例え記録樹立要件を満たしても記録更新を認めない場合があるので注意すること。

#### 6. 全国規模競技会前の検量実施に関して

- ① JPAが主催する全国競技会においては、2014年1月より、IPFルールによる手順に則り実施する。
- ② 選手の検量順は、事前に決定されたロットナンバー順に1名ずつ、個室または完全に隔離されたスペースで行う。
- ③ ロットナンバーの決定は、主管協会が厳正なる抽選のもとで公正に決定される。（申し込み順、氏名順は不可。）なお、この番号はパンフレットにも掲載されなければならない。
- ④ 検量は原則1回のみとする。1回目で不合格の際は、セッション内の選手全員が1回目の検量を済ませた後に、時間内で何度でも再検量できる。
- ⑤ 検量を実施する際は、担当審判員が記録カードに記入する。同時に、各種目第1試技申請重量、ラック高、センター補助の有無等必要事項すべて担当審判員が記入し、選手に確認を求める。決して選手には返却しないこと。
- ⑥ 上記①～⑤に関して、各地方大会での実施は任意とするが、極力上記に沿って実施する。ただし、③に関しては必ず実施すること。

※ 平成26年版ルールブックの販売は、平成26年1月下旬頃を予定しております。  
ご購入の際は、下記技術委員会宛まで問い合わせ願います。

《問い合わせ先》（極力メールでお願い致します）  
TEL 090-4140-8270（22時以降）  
FAX 086-275-0370  
メール anany1975@yahoo.co.jp  
JPA 技術委員会 阿南 喜裕